



# 外国語・英語科



# 外国語・英語科実践事例集

## 1 外国語・英語科(以下、英語科)における深い学び

コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、これまでもっていた知識や経験に関連させながら、情報や自分の考えを形成、整理、再構築し、それを英語で表現し、伝え合ったり、理解したりする学び。

## 2 「深い学び」を目指すためのポイント

### ① 英語科における「深い学び」のとりえ

英語科分科会では、英語科における学びを深めるために「英語で表現し伝え合うために、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」という「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を捉え直した。

本学園の英語科の授業においては、下線部を日本語で、波線部を英語で行う、というように使用言語を区別し、目的に応じて使い分けることで学びが一層深まると考えた。ただし、下線部についても英語で行うことができる児童・生徒に関してはこの限りではない。個々の児童・生徒の発達段階や習熟度によって支援や発展的な指導を行っていくことが必要である。

### ② 児童・生徒に身につけさせたい力

- ・具体的で身近な話題について、学校・地域・他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちを英語で適切に伝え合う力
- ・コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて即興的に発話をするができるようにする力
- ・事実や自分の考え、気持ち等を的確に聞き手に伝えるためにICTを効果的に活用する力（中学部）

## 3 深い学びを実現するための学習の流れとICT活用例

